

診療看護師(NP)
クリティカルケア認定看護師
臨床経験豊富な講師陣が講義を担当

最短5分で
サクッと見られる
「全16ページ」

3ヶ月間で 学びを自分の力に変える。

循環器マスター^{III}コース

ガイドブック

コースの魅力が
この一冊でまるわかり

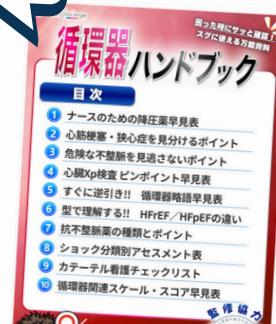
臨床での活用ポイントが盛り沢山

マスター^{III}コース
受講者累計
2,300名以上

リニューアルした新カリキュラム公開

循環器の知識もスキルも徹底習得可能

特典情報は
最終ページへ



特典は先着順です！
これ以外にも盛りだくさん



豪華6大特典
情報特別公開

ガイドブック 目次

コースの魅力がたっぷり詰まった、全16ページ

- 1** 無料体験セミナー申込要項と特典 P.03
- 2** 循環器コース申込要項と特典 P.04
- 3** 申込関連スケジュール P.05
- 4** 最新版 学習カリキュラムの内容 P.06
- 5** コースの大幅リニューアルポイント P.07
- 6** 受講した看護師さんの体験談 P.08
- 7** 各講義で学べるポイント
 - 1~2講義目：緊急対応が必要な病態の理解 P.09
 - 3~4講義目：検査と波形で読み解く循環器 P.10
 - 5~6講義目：心筋/心内膜の障害/炎症への対応 P.11
 - 7~8講義目：原因検索が治療の鍵である虚血と感染症 P.12
 - 9~10講義目：心不全/循環器の総合アプローチ P.13
- 8** スペシャリストコースの概要 P.14
- 9** 臨床実践能力が身に付く理由 2選 P.15
- 10** 循環器コースの申込概要一覧 P.16

講師紹介

救急領域・集中治療など、
臨床経験豊富な講師陣が

3ヶ月間一緒に、
コースの終了まで
サポートしていきます！



有澤 文孝

診療看護師



原島 祐貴

診療看護師



江島 由紀

クリティカルケア認定看護師

無料体験セミナー特典&最新情報

無料体験セミナー
受講者累計
10,000名以上

2夜連続 無料体験セミナー!!

講義時間：60分

質疑応答：30分

スライド枚数：計100枚以上

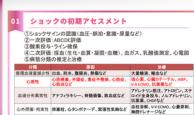
急性冠症候群と慢性冠症候群

11/29

20:30～22:30
Zoomセミナー



根拠ある知識が身に付く



最新のESCガイドラインやエビデンスから
「なぜその治療・ケアを選ぶのか」を
自信を持って説明できるように！

瞬時の判断力が身に付く



ACSやショックなど、重症化リスクの
高い症例でも、データと病態から冷静に
優先順位を判断し、迅速に動けるように！

症例に応じた看護が身に付く



循環動態/冠動脈疾患/ショック状態の
緊急度に応じた、治療と看護の選択が、
臨床現場で的確にできるように！



循環動態理解とショック対応

11/30

20:30～22:30
Zoomセミナー

～循環器領域の初期対応と病態理解～

先着
1500名
限定

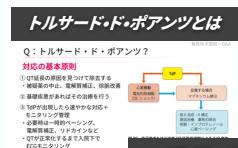
無料体験セミナー申込特典

臨床で困った時に使える特典を、申し込みと同時にプレゼント！

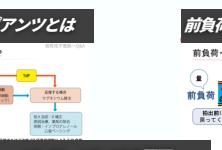
1 ショック判定/不整脈の薬剤 治療で使えるPDF 3枚セット



2 心不全/心筋梗塞の病態がわかる 短時間まとめ動画 4本セット



トルサード・ド・ボアンズとは



3 コースを「最大56%割引」 先行割引申込 特別チケット

循環器マスターコース一般申込受付開始日よりも
「3日間早く」「割引」でコースを申込できる！！



※動画の視聴期限は11月30日まで

循環器マスタークース 特典 & 最新情報

コース お申し込み期間

11/26(水) ~ 11/30(日)迄

19:00 受付開始

23:59 受付終了

無料体験セミナーに
申し込むと、この日付で
お申し込みできるよ！



期間
限定

コース申込 6大特典！

1 循環器ハンドブック

臨床ですぐに使える循環器看護のポイントが
まとめたPDF資料「10枚」をプレゼント！

QQナーシングさん監修

- ・使用頻度の高い降圧薬/抗不整脈薬 早見表
- ・ショック/心不全/冠動脈疾患の看護ポイント
- ・心臓Xp検査ピンポイント早見表 など



3 アーカイブ6ヶ月間視聴

通常3ヶ月間の視聴期間ですが、
視聴期間を6ヶ月間に延長。
何度も振り返り学習が可能です



2 循環動態/循環作動薬 「動画セミナーアーカイブ」

循環器を学ぶ上で大切な
「循環動態」「循環作動薬」
これらが学べる動画アーカイブが
お申し込み後、いつでも視聴可能！

原島 祐貴 講師監修

約45分間!!



4 資料ダウンロード6ヶ月間

通常ダウンロードはつきませんが
全400枚以上の濃密スライドが
いつでも閲覧/DLが可能です



5 最大56% 特別割引

無料体験セミナー申込でもらえる
チケットを持っていると、
特別割引でお申し込みが可能です



6 新サービス1ヶ月無料体験

- ・短時間でサクッと学べる **要点動画**
- ・約5000文字でじっくり学べる **解説記事**
- ・印刷可能で現場活用できる「**お守りカード**」50枚

これらを「1ヶ月無料」体験できるチケットをプレゼント！

ナスポート

※お申し込みには登録が必要となります。



申込関連スケジュール 早見表

無料体験セミナー 募集要項

1次 募集

申込が早いほど
特典が多い！

募集定員：先着1500名(定員に達し次第募集終了)

申込特典：下記全ての特典全てがお受け取り可能

2次 募集

募集定員：なし(何名でも申込可能)

申込特典：下記から「PDF資料」「チケット」のみ

受付
期間

11/15 ~ 11/24

無料体験セミナー 1次募集

特典

全ての特典がお受け取り可能



11/25 ~ 11/29

無料体験セミナー 2次募集

動画特典なし



申込日程 早見表

無料体験セミナー

【1次募集】

先着
1,500名

11/15(土) 19:00 ~

11/24(月) 23:59

| 11/25 (火) | 11/26 (水) | 11/27 (木) | 11/28 (金) | 11/29 (土) | 11/30 (日) |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | | | | |

無料体験セミナー当日

無料体験セミナー 【2次募集】 11/29(土) 18:00まで

有料コース先行申込期間
単体：150名 セット：100名

有料コース当日申込期間
両日：単体/セット50名ずつ

これまでの循環器コース
無料セミナーでは、受付開始後
たった数時間で満席 となります！



基礎を学ぶ動画特典は、
1次申込の1500名のみ
ぜひお早めにお申し込みを！

最新版 学習カリキュラムの内容

循環器看護

を網羅的に学習する、特別な3ヶ月間

無料講義

コースお申し込み者限定講義

02/09

スペシャリストコース より専門性を高めたい方へ

大動脈解離の治療

- 解離の分類理解と進展様式と臨床的意義
- 画像・データ診断と診断と重症化評価・合併症評価
- 内科/外科を含めた、超急性期治療戦略

弁膜症とカテーテル

- 主要弁膜症の病態生理とユニットケアでの観察視点
- 外科治療とカテーテル治療の変遷と最新治療
- 術前後の評価と管理と合併症予防(TAVI/TMVR等)

ECMO導入と看護

- 循環/呼吸補助の原理と導入の適応判断
- 薬剤調整と合併症予防、治療フローの理解
- 助循環装置管理の看護師が理解すべきポイント

**網羅的に学ぶ
循環器マスターコース**

11/29 ACSとCCSの最新治療と看護
リスク層別アセスメントや薬剤治療の、PCI合併症予防を理解

11/30 ショックの初期対応と病態理解を徹底攻略
ショック分類と不整脈鑑別、治療を最新ガイドラインから理解

12/9 検査と臨床画像で読み解く循環器疾患
Xp/CT/エコー/シンチ/運動負荷など循環の評価方法を理解



12/17 徐脈性不整脈の治療と看護師の役割
不整脈と徐脈性ショック/ペーシング適応と看護を理解



12/26 心筋炎の重症化/劇症型への進展と対応
症状と心電図波形/諸検査/治療/看護とMCS導入フローを理解



01/13 心筋症の鑑別と最新治療・看護の役割
分類と不整脈、原因検索と治療、生活支援まで理解



01/19 末梢動脈疾患：急性下肢虚血の予防と看護
下肢虚血の原因と予防、発症時時の薬剤/血行再建治療を理解



01/26 感染性心内膜炎の治療と看護
心内膜炎の病態生理と抗菌薬治療のガイドラインと看護を理解



02/03 ESCガイドラインによる心不全治療と看護
疫学と病態に合わせた薬剤選択と治療フローと看護を理解



02/09 症例から学ぶ循環器医療の総合アプローチ
症例検討でこれまでの知識をシミュレートし実践に繋げる



大幅リニューアルしたポイント

1 新しいプログラムを追加

【心機能検査】

02 エコーは何を見ればいいの！？

| 評価部位 | 意味 | 看護の活かし方 |
|-----------|------------|----------------------------|
| 左室収縮能（EF） | COや血圧低下の原因 | EF低下患者の腫瘍や投薬管理 |
| 右室拡大 | 肺高血圧・右心不全 | SpO ₂ 低下・IVC径変化 |
| IVC径と呼吸変動 | 前負荷の指標 | 脱水・過剰輸液の判断 |
| 心嚢液貯留 | 心タンパク尿兆候 | 心拍出減少・頸静脈怒張との一致確認 |

実は一度はやったことのあるエコーなんですよ

【心筋症】

原発性心筋症の分類をcheck

形で理解する心筋症の4病型

拡張型心筋症 肥大型心筋症 狹窄型心筋症 不整脈原性右室心筋症

【下肢虚血】

01 末梢動脈疾患(PAD:Peripheral Arterial Disease)

主に動脈硬化が原因で四肢の動脈が狭窄または閉塞し、実相組織への血流が低下する病態。下肢の動脈に好発し、上肢で生じるのは稀。

動脈硬化 血管内狭窄 血管狭窄 経皮的治療 痙攣

PADの中で最も多いのが閉塞性動脈硬化症(ASO)

コース全講義内容を再構築して、
新たなプログラムを追加しました！

循環動態から主要病態の治療と看護が
学べるのは勿論、循環器ならではの
講義内容を、3ヶ月間で学びきろう！



【冠動脈疾患】

03 PCIを安全性を高める戦略

Stent expansion: Stent underexpansion is a major predictor of stent failure. Underexpansion is an absolute measure of the stent's final size or compared with the predefined reference area, which can be the proximal, distal, largest, or average reference area (relative expansion). Underexpansion is associated with worse clinical outcomes and with better long-term stent patency, better clinical outcomes and a lower risk of stent failure (37–39) and appears to be a better pre-

Expansionはステント留置の予防予測因子として確立

【不整脈】

02 徐脈とは？

徐脈とは
・定義：心拍数 < 50～60 bpm未満 ◉ ただし、『症状を伴うかどうか』が重要
・心臓導導系(房結節、房室[AV]結節、His-Purkinje)に問題が起こる。
→洞機能/心房伝導不全、AVブロックの2つに大別される。
『徐脈=少ない拍出→灌流低下の可能性』

原因で注意が必要なものは？
急慢性心筋梗塞/高・低カリウム血症
洞不全症候群/窦性心拍不全(低酸素血症)
薬物中毒(速効救心薬、Ca拮抗薬、ジギタリス)
神経原性ショックなど

2 超急性期の看護もトータル学習

スペシャリストコース

より専門的な治療と看護を学べる、
「スペシャリストコース」も新登場。
救急外来・ユニットケアの看護師さんも
大満足のカリキュラムも新登場。

01 大動脈解離(Aortic Dissection)

大動脈の内膜に裂け目(エンター)ができる、血液が中膜に入り込んで層を引き裂き、真腔と偽腔(true/false lumen)が形成される致死的な血管疾患。

【動脈壁の構造】動脈は内膜・中膜・外膜の三層構造

経カテーテル大動脈弁治療(TAVI)

TAVIに用いられる弁選択
①: バルーン拡張型弁 SAPIEN Ultra RESILIA

②: 自己拡張型弁 Evolute FX またはNavifit

01 機械的補助循環(MCS: Mechanical Circulatory Support)

重症心不全に対して、薬物治療だけでは心臓の機能が不十分な場合に、機械的な装置を用いて心臓のポンプ機能を補助・代行する治療の総称。

[MCSの目的]

- 心機能回復を待つため
→ IABP / Impella / ECMO / TandemHeart / RVAD
- 心臓移植までのつなぎとして
→ 植込み型LVAD / BiVAD(場合によりImpella/ECMO)
- 最終的な治療として
→ 植込み型LVAD

MCSに苦手意識を持ついる看護師が多い！

3 計25個以上の症例検討で学べる



全講義で症例検討を、2つ以上用意しています。
効率的な学習体験で必要なことは、
「インプット」と「アウトプット」を繰り返して、
自分の知識に、効率的に定着させていきましょう！



次のページから、

- ・実際の講義内容
 - ・資料のスライド
 - ・講義で学べること など
- 一緒に見ていきましょう！

受講した看護師さんの体験談

過去800名以上が受講した、循環器マスターコース。

新人の看護師さんから、経験年数10年目以上の看護師さん、

管理職や有資格者の看護師さんも含めて、多くの方に受講いただいています。

↓ 受講者の感想はこちら ↓



22歳 男性

経験年数：1年目

循環器内科 勤務

「配属していきなり循環器か」って思って気付けば半年が経ちました。まだまだ勉強しないといけないことがたくさんあります！

病態別の治療と看護が本当に深く解説してくれたので、臨床での看護のポイントが明確になりました。



27歳 女性

経験年数：5年目

循環器/呼吸器混合内科 勤務

これまで感覚でしか捉えられなかった循環動態が、画像やデータの意味とつながって見えるようになりました。

「なんとなく異常」ではなく、「なぜそうなっているか」をちゃんと評価できるようになって、リーダーやる時もDrに報告するときも、自信がつきました！



32歳 男性

経験年数：10年目

ICU/HCU 勤務

後輩に教えるときも根拠をもって説明できるようになって、この前「先輩の説明凄くわかりやすいです」って言われたのが、嬉しかったです。

学んだことが活かせている感覚も実感し、ニーズのある内容が全部学べる循環器コース…本当に大好きです！



40歳 女性

経験年数：18年目

救急外来 勤務 看護主任

実際の症例で解説してくれるのが大変良いですね。スタッフ指導や病院での勉強会の場面でも、参考になりましたし、何よりこの歳になんでも勉強が大切だと改めて感じております。長く現場にいるからこそ、学び直して良かったと心から思える内容でした。

✓ とことん臨床の看護師さん目線

✓ その日から臨床で使える身になる知識を

✓ 全ての学びが、まるで大きな講習を受けた後かの様に繋がる体験になる様に

カリキュラムを作り込んでます！



臨床でコースの
学びを実践できた

98%

「臨床で働く看護師さん」からの
平均満足度も98%と大好評です。
メディチャレ1番人気のコース!!

↓ 2夜連続 無料体験セミナー ↓

各講義で学べること 1-2講義目

11/29

1講義目
20:30 ~ 22:30

原島 講師

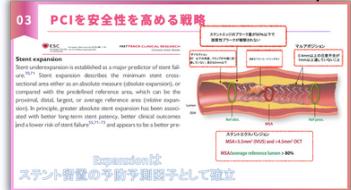
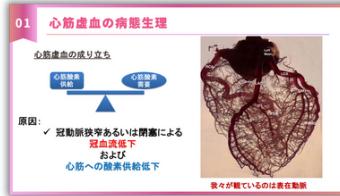
急性冠症候群と慢性冠症候群の最新治療と看護

【講義到達目標】

冠症候群の診断から治療、予後管理までを根拠を理解し
臨床判断力を高め、看護実践ができるようになる。

【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ ACSとCCSのリスク層別アセスメントと治療フロー
- ✓ 病態に合わせた抗血小板療法とは
- ✓ PCIの合併症予防についての最新エビデンス



胸の痛みを訴える患者さんを前に、「これって狭心症？それとも心筋梗塞？」と迷った経験はないですか？
急性冠症候群(ACS)と慢性冠症候群(CCS)は、一見似ているけど、対応や治療のスピード感が全く違います。
臨床での一瞬の判断が、その後の経過を大きく変わってしまうので、
即実践できる知識と判断力が身につけて、患者を救える看護師を目指しましょう！

11/30

2講義目
20:30 ~ 22:30

有澤 講師

循環器領域のショック初期対応と病態理解

【講義到達目標】

循環不全をいち早く見抜き、アセスメント力と
初動対応力を高め看護実践ができるようになる。

【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ ショックの分類と初期アセスメント
- ✓ 致死性不整脈との関連
- ✓ ショック治療の最新ガイドラインと紐づいた看護



ショックって、血圧が下がってから気付くものだと思っていないですか？
実はその前に、皮膚の色や冷感、尿量の変化など“身体が出しているSOS”があるんです。
初期輸液や昇圧薬の選び方、敗血症性ショックの症例対応まで実践的に学んで、
ショック状態に「させない技術」「なった後の治療と看護」を自信を持って実践できるようになりましょう！

まずは無料セミナーを
頑張って受けてみよう!!

1ヶ月目

2ヶ月目

3ヶ月目



↓ コース申込者限定の講義 ↓

各講義で学べること 3-4講義目

12/09

3講義目
20:30 ~ 22:00

原島 講師

検査と臨床画像で読み解く循環器疾患

【講義到達目標】

画像や検査データを根拠に、病態を読み解く力を高め、看護実践に応用できるようになる。



【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ 胸部レントゲン・心エコー・CT・心筋シンチの読み解きポイント
- ✓ 画像から循環動態を読み取る方法
- ✓ 検査データと症状を組み合わせた病態推測



「このエコー所見って、何を意味してるんだろう？」そんな疑問を持ったことないですか？
胸部レントゲンやエコー所見を通じて、循環動態を立体的に理解する力を磨いて、
検査と臨床を結びつけて考える力がつけば、急変の前触れにも気づけるようになります。
身体初見と画像所見“両方”を見れる看護師を目指しましょう！

12/17

4講義目
20:30 ~ 22:00

江島 講師

徐脈性不整脈の治療と看護師の役割

【講義到達目標】

徐脈性不整脈の理解とペーシング治療の管理を通して、
安全な循環管理・看護実践ができるようになる。

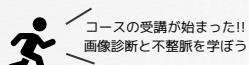


【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ 徐脈性不整脈の病態・分類・緊急度判断
- ✓ ペーシングの適応と設定
- ✓ 導入時・管理時の看護、徐脈ショック時の初期対応



モニターで徐脈を見たとき、「これ、すぐ対応すべき？」と迷ったことないですか？
設定値の意味や観察のコツ、徐脈ショック時の初動対応まで丁寧に解説していくので、
実践で使える観察力と安心感を身につけて、徐脈対応を“怖くない領域”に変えていきます。
徐脈性不整脈の鑑別ポイントと、ペーシング治療の看護をトータルで学んでいきましょう！



コースの受講が始まった!!

画像診断と不整脈を学ぼう

1ヶ月目

2ヶ月目

3ヶ月目



↓ コース申込者限定の講義 ↓

各講義で学べること 5-6講義目

12/26

5講義目
20:30 ~ 22:00

有澤 講師

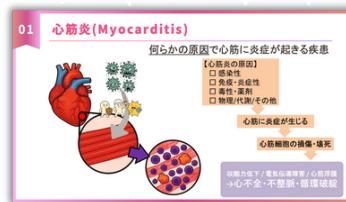
心筋炎の重症化/劇症型への進展と対応

【講義到達目標】

心筋症の病態理解をし、重症化を予測して迅速な診断と治療へつなげる対応力を高め看護実践ができるようになる。

【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ 心筋炎の発症メカニズムと重症化因子
- ✓ 検査（心電図・血液・エコー）からの早期診断
- ✓ 劇症型への進展予測と対応、MCS導入の流れと看護の役割



循環器マスター講義で初めて取り扱う「心筋炎」に関する講義です。
若い人でも突然発症する心筋炎。初期対応を誤ると、一気に重症化していきます。
この講義では、心筋炎の病態や重症化のサイン、検査で見抜くポイントを詳しく解説！
MCS導入の流れや看護の役割も整理し、チームで動ける知識を身につけていきましょう！

01/13

6講義目
20:30 ~ 22:00

原島 講師

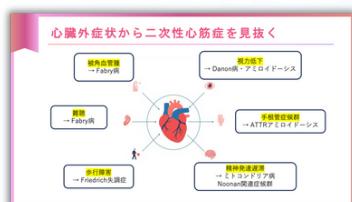
心筋症の鑑別と最新治療・看護の役割

【講義到達目標】

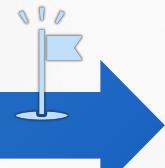
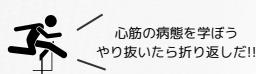
多様な心筋症の鑑別と看護支援を理解し、個別性ある看護実践ができるようになる。

【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ 心筋症の分類と診断基準
- ✓ 二次性心筋症との鑑別と治療
- ✓ 不整脈管理・生活支援の要点セルフケア指導と心理サポート



新講義の第二弾である「心筋症」に関する講義です。
同じ「心筋症」でも、治療や看護師が行うべき対応がまったく異なります。
二次性心筋症との見分け方や、生活支援・セルフケア指導の実践ポイントも学んで、
疾患理解だけじゃなく、患者さんの生活を支える看護の深さを感じられる内容を深めましょう！



1ヶ月目

2ヶ月目

3ヶ月目

コース申込者限定の講義

各講義で学べること 7-8講義目

01/19

7講義目
20:30 ~ 22:00

有澤 講師

末梢動脈疾患：急性下肢虚血の予防と看護

【講義到達目標】

下肢虚血の予防、早期に見抜き治療をスムーズに実践するための技術を学び、看護ができるようになる。

【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ PADの病態とリスク因子
- ✓ ABI測定・皮膚所見の観察ポイント
- ✓ 血行再建術前後・急性下肢虚血の初期対応と連携



新講義の第三弾「下肢虚血」に関する講義です。
足が冷たい、色が違う、感覺鈍麻がある、可動域が狭い——その“違和感”が、命を救うことに繋がります。
急性下肢虚血の病態生理と評価、初期対応や血行再建などの治療をシミュレーション形式で学んで、
“まずは気づく”そして“治療に移る・予防する”を場面に応じて的確に実践できる看護師を目指しましょう！

01/26

8講義目
20:30 ~ 22:00

江島 講師

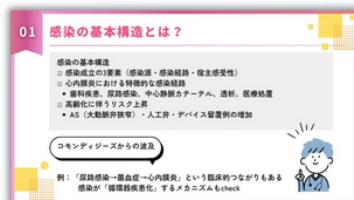
感染性心内膜炎の治療と看護

【講義到達目標】

感染性心内膜炎の診断と治療を体系的に理解し、合併症予防を含めた看護実践ができるようになる。

【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ 心内膜炎の総論と病態生理
- ✓ 諸検査と治療ガイドライン
- ✓ 抗菌薬治療期間や治療中の看護のポイント



新講義の第四弾である「感染性心内膜炎」に関する講義です。患者層は若年の方も含まれており、決して循環器に勤務している看護師さんだけが対象の講義ではありません。
発熱、心雜音、血液培養陽性——その3つが揃ったら要注意のサイン。診断の流れから治療の考え方、抗菌薬投与中の観察視点まで整理して、進行の早い心内膜炎から命を守る治療と看護を学びましょう！

1ヶ月目

2ヶ月目

3ヶ月目



着々と成長してます！
虚血と感染の看護を学ぶと
ゴールまであと少し



↓ コース申込者限定の講義 ↓

各講義で学べること 9-10講義目

02/03

9講義目
20:30 ~ 22:00

原島 講師

ESCガイドラインによる心不全治療と看護

【講義到達目標】

ガイドラインを基に、心不全の病態と治療/看護を理解し、チームで患者を心不全ケアを実践ができるようになる。

【アジェンダ/講義で学べること】

- ✓ 心不全の疫学と基本病態の理解
- ✓ 病態に合わせた薬剤選択と治療
- ✓ ESCガイドラインの詳細解説

| 臨床で必要な心不全の知識 | | |
|-----------------------------------|-----------------------|--------------|
| LVEF分類 (Universal Definition)では4群 | | |
| 分類 | EF基準 | 内容 |
| HFREF | <40% | 収縮不全による心不全 |
| HFmrEF | 41-49% | 中間群 (再分類が必要) |
| HFpEF | ≥50% | 拡張不全による心不全 |
| HFimpEF | 改善例 (過去40%未満→≥40%) | 治療反応性を反映 |

※EFが改善したから治療ではないことを強調。
薬物を中止すると再悪化することがある (JCS2025でも強調)

| 病態に合わせた薬剤選択 | | | |
|-------------|-------------------------------|----------------------|----------------|
| 病態 | 推奨薬剤 | 補助療法 | 注意点 |
| HFREF | ARNI, β 遮断薬, MRA, SGLT2 | 利尿薬, Iabradine, Fe補充 | 低血圧・腎機能悪化 |
| HFmrEF | β 遮断薬, MRA, SGLT2 | ARNIは条件付 | 病態進行に注意 |
| HFpEF | SGLT2, 利尿薬, ARB | 血圧・体液管理 | LVEFが良くても再入院多い |



最新のガイドラインから、心不全の知識と看護をアップデートしていく講義です。
心不全の患者さん、入退院を繰り返していないですか？ パンデミックはもう始まっているからこそ、改めて知識を見直し、患者の生活を含めたケアを実践していくことが、看護師には求められます。
“再入院を防ぐ”視点で、心不全患者の生活を支える技術を身につけていきましょう！

02/09

10講義目
20:30 ~ 22:00

江島 講師

症例から学ぶ循環器看護と総合アプローチ

【講義到達目標】

どんな状況でも、的確に「循環器看護」を実践し、チーム医療の中で、主導的に動けるスキルを身に付ける。

症例検討 3 問



いよいよ、循環器マスターコースの最終講義となります。
ここでは、これまでに学んだ知識を用いて、症例検討にチャレンジします。ひたすらアウトプットを繰り返して循環動態の評価と状態悪化時の治療と看護を、複数症例を通してシミュレーションしていきましょう。
コースで学んだ「知識」と「実践スキル」を統合して、循環器をマスター！

10講義、全部走り抜いた！
更なるに専門知識を学びたくなってきたぞ！



1ヶ月目

2ヶ月目

3ヶ月目

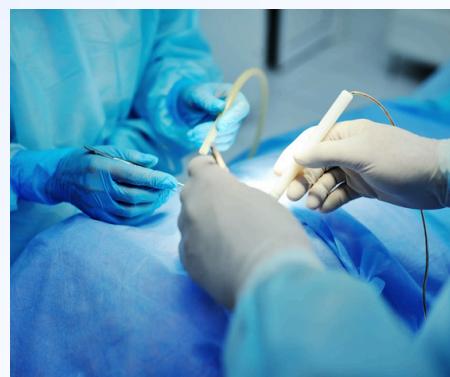
【コースを受講後の到達目標】

- 循環器疾患の観察・評価・報告・対応を一連で考えるための臨床思考力が身につく
- ショック・冠動脈疾患・不整脈・心不全など多様な病態への対応ができるようになる
- チーム医療の中で、自ら動き、伝え、主導的に動けるようになる

スペシャリストコース セミナー概要

循環器マスターコースで体系的に循環器領域の看護を学んだ後、専門性の高い治療を必要とする患者対応を学べる、特別な動画セミナープログラム

講義数：全3回 講義時間：計180分 スライド枚数：計150枚以上



急性大動脈解離・大動脈瘤の診断と看護

- ✓ 病態と分類の整理
→DeBakey分類/Stanford分類、進展様式と臨床的意義
- ✓ 診断と重症化評価
→画像診断、臨床症状・合併症（虚血/心タンポナーデなど）
- ✓ 超急性期治療戦略
→Stanford A/Bにおける初期対応と管理、治療適応
- ✓ 症例検討
→モニタリングと観察ポイント、合併症予防と緊急時対応など



弁膜症の最新カテーテル治療と具体

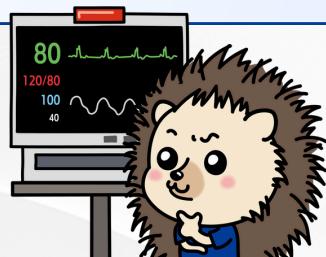
- ✓ 主要弁膜症の病態生理
→AS/AR/MRなどのユニットケア観察視点、治療の変遷
- ✓ 外科治療とカテーテル治療の変遷
→SAVR、MVRなど治療、高齢化に伴う低侵襲治療へのシフト
- ✓ 最新カテーテル治療の具体
→TAVI、MitraClipとその他治療の今後の展望
- ✓ 症例検討
→手技前後の評価と管理と合併症予防、リハビリと在宅支援など



メカニカルサポート(ECMO)の適応と看護

- ✓ ECMOの基本理解
→種類と構造の違い、循環・呼吸補助の原理と導入の適応判断
- ✓ 抗凝固療法と出血リスクの管理
→導入中の薬剤管理と出血リスクへの対応と考え方
- ✓ 流量調整・ガス交換評価・合併症の予防
→循環動態を見据えた補助循環装置の管理ポイント
- ✓ 症例検討
→導入直後から離脱までの管理ポイント

「感覚的にわかる」から「構造的に説明できる」へ。
臨床でチームをリードできる看護師になれるように、
“専門知識と現場対応力”を磨いていきましょう！



臨床実践能力が身に付く理由2選

こだわり抜いた、わかりやすい資料

講義資料は
全400枚以上

臨床で実際の写真や、病態をイメージしやすい画像や表などを多数掲載

心筋虚血をMRI画像を用いて
血管別の虚血と進行を徹底理解！

01 心筋虚血の病態生理

心筋虚血の成り立ち
心筋酸素供給 vs 心筋酸素需要

原因：
✓ 冠動脈狭窄あるいは閉塞による
冠血流低下
および
心筋への酸素供給低下

我々が観ているのは表在動脈

エコーを用いて心機能や合併症
鑑別、看護師でも理解が必要！

05 術後合併症

みなさんお気づきでしょうか！？

心室中隔欠損症

心臓カテーテル治療の
イメージを解説図で理解！

03 PCIを安全性を高める戦略

Stent expansion
Stent expansion is established as a major predictor of stent failure.^{26,27} Stent expansion describes the minimum stent cross-sectional area either as an absolute measure (obtuse expansion), or compared with the predefined reference area, which can be the previous, distal, largest, or average reference area (relative expansion). In previous studies, relative expansion has been associated with better long-term stent patency, better clinical outcomes and a lower risk of stent failure.^{26,27,28} and appears to be a better predictor of stent failure.^{26,27,28}

Expansionは
ステント留置の予防予測因子として確立

臨床のモニターを想起した
専用画像で、循環を徹底理解！

致死的不整脈は抑えるべき

02 致死的不整脈

HR 120, PR 121, ART 109/48 (68), SpO2 97%, RR 24, RESP(DPI) x3/4

こんなときは！？

徐脈性不整脈に対する
ペースメーカー管理もバッチリ！

04 ベースメーカーの管理（一時ペーシングの例）

Temporary Pacemaker

- ポース移入部固定状況
- シリンジのデフレーション
- 持腹環の固定リング
- 衣類への固定

循環動態の理解はマスト
イメージ図で徹底理解！

03 心拍出量

心拍出量の規定因数とは？

理論との関連：末梢循環と血行動態の関係

末梢循環の所見は「CO（心拍出量）」
と密接に関連している
心拍出量（CO）は以下の式で表される
$$CO = HR \times SV$$
 (1回拍出量)

COが低下すると、
末梢循環への血流量が減少
→組織灌流不全が起こる。
その結果、末梢循環の異常が
「最初のサイン」として現れる。

「症例検討」で、臨床擬似体験

実際の講義
受講イメージ

症例問題

【患者背景】
48歳男性
既往：高血圧、糖尿病（外回り歴）
・健診で左室肥大を指摘され、精査目的で受診。
前投昇降で息切れ、動悸を自覚。心エコーで左室中隔肥厚（20mm）・SAM陽性・LVOT圧差60mmHgを認め、β遮断薬が処方された。

【検査所見】

| 項目 | 所見 |
|------|-----------------------------------|
| HR | 54 / 分 (洞性徐脈) |
| BP | 98 / 60 mmHg |
| 胸部聴診 | 第4助間左縁に収縮期粗音性聲音 (Valsalvaで増強) |
| ECG | 左室肥大 + 隣性T波 |
| Echo | IVS厚 19 mm, LVOT圧差 65 mmHg, SAM陽性 |
| MRI | 中隔肥厚化 (LGE陽性) |

ミート解除 ビデオをオ… 参加者 チャット リアクション 共有 AI Companion... レコーディ… 字幕を表示 ホワイト… ドキュメン…

クイズ投票機能

チケット機能

リアクション機能



3ヶ月間の繰り返し学習＆アウトプットをするからこそ、

どんどん知識が定着していきます！

循環器コースの申込概要一覧

11月26日 19時に公開する専用ページから申込受付開始

| 11/26 (水) | 11/27 (木) | 11/28 (金) | 11/29 (土) | 11/30 (日) |
|---|-----------|-----------|---|-----------|
| 無料体験セミナー 申込者限定 | | | 有料コース先行申込期間 単体：150名 セット：100名 | |
| 有料コース当日申込期間 両日：単体/セット50名ずつ | | | | |

※無料体験セミナーをお申し込みされていない方は、11/29(土)よりお申込み可能となります

※次の循環器コースの開催は一年後になります。受講をご希望の方はご注意ください。

| 申込プラン一覧 | スペシャリストコース | 「オススメ」 循環器マスターコース + スペシャリストコース | 循環器マスターコース |
|---------|---------------------------|---|---------------------------|
| オススメな方 | 重症例の急変対応を集中して学びたい方 | 集中治療、救命救急を含めた急性期に携わる方 | 急性期/一般病棟の方 |
| 全講義数 | 3本の動画セミナー (2025/2/9公開) | 全10回のLIVEセミナー (11月～2月) + 3本の動画セミナー (2025/2/9公開) | 全10回のLIVEセミナー (11月～2月) |
| 正規申込価格 | 26,430円 | 66,990円 | 43,560円 |
| 期間限定価格 | 18,500円 (30%OFF) | 29,800円 (56%OFF) | 21,780円 (50%OFF) |

↓ 無料体験セミナーにお申し込みいただいた方は、下記特典がつきます ↓

コース申込6大特典

人数/期間
制限あり

コース申込6大特典

1

循環器ハンドブック

臨床ですぐに使える循環器看護のポイントが
まとまったPDF資料「10枚」をプレゼント！

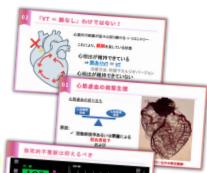
QQナーシングさん監修

- 使用頻度の高い降圧薬/抗不整脈薬 早見表
- ショック/心不全/冠動脈疾患の看護ポイント
- 心臓Xp検査ピンポイント早見表 など



2

アーカイブ6ヶ月間視聴



3

資料ダウンロード



4

最大56%特別割引



5

新サービス1ヶ月無料体験

- 短時間でサクッと学べる 要点動画
 - 約5000文字でじっくり学べる 解説記事
 - 印刷可能で現場活用できる「お守りカード」50枚
- これらを「1ヶ月無料」体験できるチケットをプレゼント！



6

循環動態/循環作動薬 「動画セミナーアーカイブ」

循環器を学ぶ上で大切な
「循環動態」「循環作動薬」
これらが学べるの動画
アーカイブがお申し込み後、
いつでも視聴可能！



循環器マスター^{III}コース

Special Guide Book

ガイドブック

いかがだったでしょうか？

循環器看護に必要なことは、

- ・病態を深く理解し、循環動態を“読める”知識。
- ・ショックや不整脈などの変化を“予測できる”観察力。
- ・急変や重症化に直面したとき、根拠をもって“動ける”判断力と実践力。

多くの院内研修や短期セミナーでは、

単発的な学びで終わってしまうことも少なくありません。

循環器マスター^{III}コースは、約3ヶ月間の体系的プログラムを通して、循環器疾患の基礎から最新治療・重症管理までを段階的に学び、

「循環を理解し、患者を守れる」看護師として成長できるよう、サポートしていきます。

心電図・循環動態・ショック・MCS（補助循環）・大動脈解離など、循環器看護に必要なエッセンスを現場視点で学び、“なんとなく理解している”状態から、“根拠をもって判断できる”自分へ。

3ヶ月間、一緒に“循環を読む力”を磨いていきませんか？

まずは無料体験セミナーで、お会いしましょう！

講義でみなさんと成長を共有できる日を、楽しみにしています！